

令和6年度 市長タウンミーティング 実績報告

■実施概要

○開催日時・場所

令和7年3月4日(火) 18時30分～19時30分・商工会 会議室

○テーマ

「事業者目線での藤井寺市のにぎわいづくり」

○参加者

藤井寺市商工会青年部 10名

■内容

①市政運営状況の説明（岡田市長）



～人と歴史が生きる未来へ～
笑顔と活気に満ちた快適なまち ふじいでら
令和7年3月4日

藤井寺市長：岡田一樹

なかなかのまちなか 藤井寺
FUJISERA CITY PROMOTION

Agenda

- ▶ 藤井寺市の現状と課題
- ▶ 市がめざすまちの姿
- ▶ ふるさと納税の状況
- ▶ 令和7年度の重要施策
- ▶ 私からのメッセージ

1

それでは、藤井寺市の現状と課題や、今後目指していく方向性などについて、これからお話をさせていただきます。

まず、藤井寺市の特徴と強みですけれども、藤井寺市は大阪府下で最も小さな市ではありますが、その中でも国宝など豊富な歴史資産や世界遺産である古市古墳群があり、さらに古墳の数はコンビニより多いというのが本市の特徴です。

また、近鉄電車や高速道路のインターがあり、交通の便が良いのも大きな強みです。

そして、秋祭り等に象徴されているように、昔からの歴史・文化に多くの方が携わっていただき、本当に藤井寺を愛している市民さんがたくさん住んでおられると

01

藤井寺市の現状と課題

Current situation and issues
of Fujiidera City

2

藤井寺市の特徴と強み



豊かな歴史資産

- 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の存在（大阪府で唯一）
- 由緒ある神社仏閣
- 国宝：千手観音座像（藤井寺）・十一面観音立像（道明寺）・伝説公薬品（道明寺天満宮）

良好な住環境

- インターチェンジや近鉄南大阪線3駅が所在
- 大阪市内への所要時間約13分
- 災害の少なさ・良好な住環境イメージ



豊富な地域資源

- 普段づかいの「まちなか観光」（なかなかのまちなか）
- 地域産業の振興
- 様々な媒体を用いた市プロモーション
- 「だんじり祭り」などの伝統行事

3

直面する課題

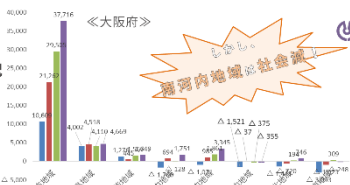
大阪府と藤井寺市の人口状況

社会増減とは…？

転入数と転出数の差のこと

転入数＞転出数の場合、**社会増**

転入数＜転出数の場合、**社会減**



直面する課題

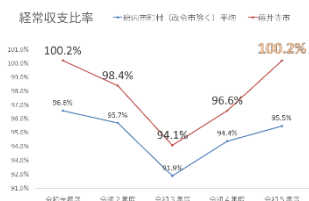
厳しい財政状況



経常収支比率とは…？

通常収入入ってくると思える収入で、

通常年出ていくと考えられる支出をどの程度まわしているかを表す指標



経常収支比率が100%を超えているということは、
支出＞収入となっているということ。

つまり、家計に例えると…

赤字!

令和5年度の経常収支比率は、

100.2%

経常収支比率を下げる必要があります

5

02

めざすまちの姿

～人と歴史が生きる未来へ～

笑顔と活気に満ちた快適なまち ふじいでら

Aim for

6

思います。

しかし、現実問題として、厳しい状況も多々あるのも事実でして、その一つは人口減少です。

日本全体で少子高齢化が進む中での人口の「自然減」は避けられないことですが、着目すべきは転入者数よりも転出者数が多くなることで起こる、いわゆる「社会減」です。大阪府全体を見ると、大和川より南側の地域がまさに社会減の傾向にあります。本市は年によって増減の凸凹を繰り返しながら、なんとか踏ん張っている状況です。多くの方に藤井寺に住んでもらえるようにすることが課題の一つだと認識しています。

もう一つは、皆さんもよく耳にしておられることだと思いますが、財政状況が厳しいということです。私が市長に就任してから行財政改革をさせてもらって、経常収支比率は良くなってきていたところでしたが、昨年度は以前の状況まで下振れとなっていました。

今後は、さらに改革を進める中で、切るところは切る。また、稼げるところは稼いでいかなければなりません。

そんな中でもやはり、まちのにぎわい作りや活性化という観点から、観光で藤井寺に来てくれる人を増やすことを見据え、シュラホールをリニューアルオープンいたしました。今後は新たなお土産の商品開発など、皆さんとの様々な取り組みを進めていきたいと思っています。

それと未来への投資として、子育てしやすいまちづく

▼ 歴史文化の活用による都市イメージの向上

古市古墳群を核とした観光・地域活性化 万博との連携・文化財活用

- アイセルシュラホールを観光リニューアル
- 世界遺産である古墳群の保存と活用・魅力発信
- 大阪・関西万博を契機に、本市の魅力を国内外へアピール
- 市民や事業者との協働・共創によるまちの活性化



地域の誇りを育む取り組み～市民協働イベント・学びの場づくり～



▼ 未来への投資～若い世代に選ばれるまちへ～

子育て・教育・ICT活用

- 「藤井寺市子ども家庭センター」設置
- 子育て世帯訪問支援事業の開始
- 児童生徒、保護者、教員も使いやすい、デジタル教材を導入
- 待機児童の解消を目指し、民間保育所整備事業者を選定
- 公園遊具リニューアル



次世代に向けたまちづくり



▼ 住宅都市としての魅力向上～快適で住みやすいまち

公共交通の充実

移動しやすい環境づくり

- 本市にふさわしい公共交通の導入検討
- 歴史性を活かしたまちなみの景観整備
- 重量無縁の整備や消防団倉庫の修繕などによる防災力の強化
- 公共施設の耐震化への取組



住宅地の価値向上～景観整備・住環境の向上・災害対策～



▼ コンパクトシティの推進～暮らしやすさの追求～

持続可能なまちづくり

- 都市計画道路八尾富田線に合わせた地域の活性化
- 居住機能や都市機能の誘導によるコンパクトシティの推進
- 藤井寺市中小企業振興計画に基づく取組
- 誰もが安心して暮らせる福祉施策の推進
- 市民一人ひとりの健康づくりの促進
- 藤井寺市ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた取組



商業・健康・福祉・教育・環境 ～ウェルビーイングの向上～



りを進めていこうと考えています。今年度はこども家庭センターを設置し、子育てに関する様々な相談ができる体制づくりを進めていますが、今後はさらに、子育て家庭に訪問していくような事業も始めようと考えています。

また、待機児童の解消に向けて民間保育所の新規開設を進めておりますし、公園遊具の整備には、障害の有無に関わらず、すべての子どもたちが一緒に遊べるユニバーサルデザインのものを順次整備しているところです。

住環境における魅力向上としては、まさに今、検討を進めているのが循環バスの見直しです。効率よく運行できる新しい公共交通の仕組みを作りたいと思っています。

まちなみの景観整備については、現在は道明寺駅前の整備をしているところです。

また、もともと小さなまちである藤井寺において、さらにコンパクトシティの推進という観点から、藤井寺の魅力を作っていく様々な取り組みを考えております。

03

ふるさと納税の状況

Hometown tax donation program

私が市長に就任した際、当時のふるさと納税の額は1,500万円程度でしたが、今は2億5,000万円くらいにまで増えてきました。

商工会に属しておられる事業者さんにご協力いただき、本当に様々な返礼品でご好評いただいておりますが、市といたしましては、さらなる収入アップを目指しております。皆さんも返礼品になるような商品やアイデ

ふるさと納税寄附状況 ＜藤井寺市＞



人気の返礼品TOP5



総額、前年増進
総件数は138%↑

寄附額、なんと
約2億4,700万円突破！

ふるさと納税が増えるとうなるか

全国的にふるさと納税額は年々増加傾向

寄附額の増加とは、
つまり…

市税が流出
している！
ということ…



控除額を上回る
寄附が必要！

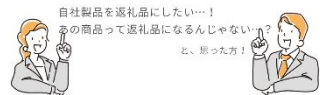
寄附増加をめざして

返礼品の新規開拓

今年度、新たに返礼品として加わった商品数
なんと…

約130件！

今後は、YouTubeなど多様な媒体を用いて、
返礼品や企業紹介を行い、
さらに市の魅力をアピールしていきます！



魅力発信課
までご連絡ください

04

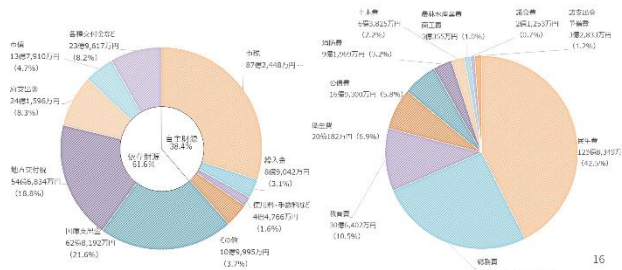
令和7年度の重点施策 Priority measures

続いて、令和7年度の重点施策についてですが、まずは藤井寺市の一般会計予算291億円の内訳を見ますと、市税をはじめ自ら収入できるのが4割弱、あとは国からの地方交付税や府の補助金などに依存しているという状況です。

その使い道は、福祉関係経費である民生費や人件費等を含む総務費、教育関係経費等々図のようになっております。

当初予算案の概要

◎一般会計歳入予算 291億400万円 ◎一般会計歳出予算(目的別) 291億400万円



具体的な実施予定の事業を見ていくと、にぎわいの創出ということで、2025大阪・関西万博の開催に関係した取り組みを実施していきます。また、本年は国宝千手観音座像開眼1300年、大坂夏の陣道明寺合戦410周年と、藤井寺に所縁のある歴史的資産で、周年記念を迎える節目の年であります。これらを積極的にPRして、万博にきた観光客に足を延ばして藤井寺に来てもら

にぎわいと活力の創出



万博を契機としたにぎわい創出

- 2025大阪・関西万博出展事業
- 2025大阪・関西万博子ども招待事業
- アイゼンシュールホールのリニューアルオープン
- テレビ番組や新聞による観光プロモーション事業



地域活力・まちの魅力向上

- 商品券事業による地域経済の活性化
- 事業省実証事業（補助金）
- 史跡古市古町群像復元計画に基づく保全と活用
- 田宝千手観音像復元1300年への取組
- 大観覧の円通寺合戦410周年への取組

17

子どもたちが輝く未来のために



子育て支援の推進

- 民間保育所施設整備事業
- 子育て世帯訪問支援事業
- 市立幼稚園・保育所の再編に向けた検討
- 多子世帯への保育料軽減制度による負担軽減

学校教育の充実

- 市立小中学校の学校給食費助成事業
- 市立小学校トイレ洋式化事業
- 市立小学校水泳指導員委託事業
- 教育DX推進事業
- 地域との連携によるコミュニティスクールの導入

18

快適で良好な生活空間の形成



都市基盤・住環境の整備

- 市長総合体戸籍封鎖工事及び空調改修工事
- 市立図書館読書推進事業
- 街頭防犯カメラ設置等防犯事業
- 旧藤井寺市民病院の跡地利用の検討
- 建設公共下水道管の老朽化対策に向けた状況調査
- 冠肺炎チェックイン機能（公式LINE機能拡充）



住民・来訪者の利便性向上

- 都市計画道路八景田林線沿線まちづくり事業
- 透明な駅周辺のまちなみ景観整備
- ダイヤモンドタクシー実証運行
- コンパクトシティ形成に向けた立地適正化計画の策定

19

05

私からのメッセージ

Message

20

私からのメッセージ

市民、各種団体、事業者の皆様との協働・共創により、
「笑顔と活気に満ちた快適なまち 藤井寺」の実現に向け
私が先頭に立ち取り組んでまいりますので、
ご協力をお願いいたします。



各団市公式アカウントはコチラ！
登録してくださいね！



21

いたいと思っています。

それと、この物価高騰でみんなが大変な思いをしている中で、商工会さんと連携しながら、商品券事業に取り組んでいこうと考えています。

また、事業者の支援事業ということで、大変な中で頑張っている事業者さん、新しい取り組みにチャレンジする事業者さんへの支援もさせてもらっていますので、ぜひ活用していただければと思います。

また、子どもたちに関わる事業として、先ほどの子育て支援事業のほか、小中学校の給食費の一部助成やトイレの洋式化等々を考えております。

快適な生活空間の形成ということでは、公共施設の耐震化や、市民病院の跡地活用の検討、ライフラインの整備など進めていきます。

ここで、埼玉県八潮市であった、下水道管の老朽化に伴う陥没事故に関しまして、藤井寺市内の管路は、大きいものでも直径 1メートル程度で、あそこまでの事故になるようなものはないということと、定期的な調査を実施していることはお伝えさせていただきます。

駆け足での説明になりましたが、最後に、藤井寺市は市民の皆さんのものですから、皆さんと一緒にこの藤井寺を盛り上げていきたいと思っています。

「笑顔と活気に満ちた快適なまち 藤井寺」が第6次総合計画で目指すべき将来像です。今日は市民でもあり、事業者でもある皆さんからいろんなご提案をいただき、市と事業者の皆さん、そしてその他すべての市民の方々がうまく正三角形の形で、素敵な住みよいまちづくりをしていければと思っています。よろしくお願いいたします。



②意見交換内容



Q1 都市開発について

商工
会
青
年
部

税収を増やしていくにしても、人口というか転入者が増えないといけないと思うのですが、土地や建物の開発計画などあれば教えてください。

岡田市長

まとまった土地のまちづくりで言いますと、藤井寺高校周りの畑等がいっぱいあるところは、八尾富田林線の整備を大阪府が進めているところですが、それに伴って、市も地権者等と連携して、まちづくりを進めていきたいと考えております。また、川北エリアの外環状線で大和川を越えた右側、柏原市と隣接している辺りは今後、土地利用について検討が必要であると考えています。

また、現在進行しているところと言うと、ニチバン跡地で新たな宅地開発が進んでいるところです。

Q2 公共交通について

商工
会
青
年
部

市内で飲食業をしています。特に近隣市にお住まいのお客さんからタクシーがなかなかつかまらないという話を聞くことがとても多いです。ライドシェアなどの導入を期待していたのですが、今後そのようなサービスの向上に向けた取り組みなど考えておられますか。

岡田市長

特に終電後にタクシーが全然つかまらないという話はよく聞きますが、近鉄タクシーさんともお話をする中で、働き方改革やドライバー不足の影響で、解決するのはすごく難しい問題だと感じています。

それと、ライドシェア等の新しい交通サービスについても、本市の公共交通機関の空白地帯が少ないところを見ると、今事業展開をしてくれる事業者がなかなかいないということもあります。

交通サービスについては、規制の関係もあり、新しいことを始めるには非常にハードルが高い分野になると思います。高齢化が進み、ご近所関係も希薄になっているこのご時世の中で、どんな形で公共交通をより良くするか考えなければならないと思っています。

Q3 交通改善、子どもの遊び場の整備について

商 工 会
青 年 部

私は美容室をしており、お客さんから本当によく聞く話題として、子どもたちが遊べる公園がないということと、保健所近くの踏切・三叉路の通行の不便さ、危険性の話があります。市長にとっては聞かれすぎておられる話かもしれませんが今後のお考えなどあれば教えてください。

岡田市長

まず、子どもの遊び場について、公園があっても小さすぎてボール遊びを禁止しているところが多いです。ボール遊びしようと思ったらそれなりの広さが必要で、藤井寺市の中でそれができる場所となると、学校の校庭開放か、西名阪自動車道の高架下の活用として子どもの遊び場を整備するしかないかと思います。ただし、学校の開放となると防犯の問題もありますし、高架下の活用も現在、高速道路をリニューアル工事されており、その他にも NEXCO さんと様々な調整が必要なことからすぐに解決できる課題ではないですが、重要な問題として認識しております。

保健所近くの踏切と三叉路、またソリアの裏の踏切については、本当によくお声をいただいております。しかし、どれも府道や近鉄さんが関係しており、市だけで対応することができないというところで、各所に改善の申し入れをしています。すぐに解決できる問題ではないということでご理解いただきますようお願いいたします。

Q4 事業者支援について

商 工 会
青 年 部

藤井寺市では事業者に対する上限 100 万円の支援補助制度があると思いますが、例えばテナント一つを改装するのににも到底及ばない金額です。そこで、多くの事業者に少額を支給するのではなく、例えば神戸市がやっているように、支援希望者の中から選定した事業者に、ガツンと 500 万円の支援を行うなど、思い切った制度を新設していただけないでしょうか？

岡田市長

支援補助制度の財源は公費ですので、皆さんから集めた税金をどのように使うのかという話になると思います。現状は少額でも広く多くの方が利用できる制度になっていますが、考え方として、神戸市さんのように一極集中型で、勢いがあり集客力が見込める事業者を選定して費用を投入するというやり方もあると思います。しかし、その場合、そこから得られる藤井寺市としてのメリットをどう見極めるのか、その後の経過と効果をどう評価するかを考えると制度

設計は非常に難しいと思います。

商 工 会
青 年 部

神戸市だと外部の専門家が入って選定したり、効果を評価したりしています。私は大きな支援を得るために、事業者が競い合ったほうが良い結果に繋がると考えています。

岡田市長

事業者支援補助金の制度の見直しは、時代に応じてやっていかないといけないと思います。他市さんでもやっているような、制度を利用したい事業者さんのこれまでの実績や先進的な事業展開や設備の導入、藤井寺市のために特徴のある事業を考えておられるなどの基準を作って、それに応じて補助金額を変えていくなど、いろいろ考えられるので、これからもこういった若い事業者さんのご意見をどんどん聞いていきたいと思っています。

また、商工会で企業スクールをしていただいております、それに参加して藤井寺で起業したいと思ってくださる方はたくさんいらっしゃいます。そういう支援の仕方もありますし、事業活動のどこの部分を支援するかということも考えていく必要がありますね。

Q5 商工会青年部が企画するイベントについて

商 工 会
青 年 部

商工会青年部の部員も増え、部としての実動日数が増える中で、私が以前から実施したいと思っていた恋活のイベントが実現することになりました。3月の広報にも掲載していただきありがとうございました。これをきっかけにカップルになって、結婚して藤井寺で生活してくれて、子どもが産まれて、という良い形になればと思っています。それを踏まえて、次の企画も考えていて、『子どもたちが夢見る藤井寺』というテーマで催しをしたいなと思っています。

商 工 会
青 年 部

私の実体験として、多くの子どもを見る中で「もっと早く始めていればもっと伸びたのに」と思うことが多く、子どもが興味関心をもって一生懸命になれることを見つけやすい機会を提供してあげたいと思っています。スポーツであったりアートであったり職業であったり、いろいろなことを知ったり体験できるイベント『フジザニア』を開催したいと考えています。

そこで、市には雨天時でも実施できるような、例えば学校の体育館のような場所を無償で貸していただけないか、また学校でのチラシの配布など周知活動のサポートをお願いしたいと思っています。

岡田市長

職業体験で市が今までやってきたことと言うと、例えばANA ウイングスさんにシュラホールで仕事紹介、職業体験をしてもらいました。これとはまた違った形で体験できる機会を作っていただけるのは良いことだと思います。

場所の提供等のご協力については、今ここでお答えさせていただくのは難しいので、企画書を作ってください、商工会を通じてご提出いただければと思います。

Q6 岡田市長が考える令和7年度の展望について

商 工 会
青 年 部

最後に、今年市長が一番やりたいと思っていることなどお聞かせください。

岡田市長

まずは総合計画の中にもありますとおり、市の財源をしっかり確保してさらなる増収を目指します。それを子どもたちや支援が必要な方たちに分配していくことが重要です。

財政的な部分での改革は引き続き実施していきますが、切るばかりだけでなく、市を前に進めていくためにも、今年はシュラホールのリニューアルや万博の開催を契機として、市内の事業者さんたちと協力し合いながらの賑わいづくりにしっかりと取り組みたいと考えています。

また、公共施設に関しても先送りできない問題です。全体を見回しても築 50 年以上という施設がいっぱいあって、その対応と同時に 10 年先、20 年先には、さらに人口が減少しているということが想定されることから、目先の問題だけではなく、先の状況や未来の市民の負担を考えながら、施策を進めていこうと思っています。

藤井寺市を選ばれるまちにしていけないといけない。そこで、藤井寺のまちの魅力をどう示していくかということ、やはり住みやすい環境をしっかり作っていく。また、わくわくするような、住んでみたいと思われるまちにしていかなければなりません。大きな話ですが一つずつ形にしていきたいと考えています。そのために、市内の事業者さんにも頑張ってもらいたいことがまちの活性化には欠かせないと思っています。

面積が小さく、大きな企業がドーンと来られるようなことはスペース的にも難しい中で、個々の事業者さんがどうやってがんばっていけるのか、藤井寺で頑張りたいという事業者さんをどうやってサポートできるかをしっかり考えていかなければいけないということを改めて思い、今日お話を聞かせていただいてよかったと思います。これからもよろしくお願いいたします。



■アンケート結果

回答者数 6 人／参加者 10 人

Q1 今回のタウンミーティングは満足いただけましたか。

回答数	項目
2	満足した
4	どちらかといえば満足した
0	どちらともいえない
0	どちらかといえば不満
0	不満
「満足した」理由 ○市の状況について考えたことがなかった ○藤井寺の魅力について知れたことが良かった。課題もたくさんありますが、市も様々な施策に取り組んでおられ、それが事業者にも伝わり、活発に意見交換が行えていたと感じたため	
「どちらかといえば満足した」理由 ○藤井寺の様々な事が知れて良かった	

Q2. 今後タウンミーティングを開催する場合、どのようなテーマなら参加を希望しますか。

○子どもの未来、事業者の助成金について
○今回みたいにザックバランで良かった。
○事業者のニーズに合う支援補助金や施策を行っていただく上で検討材料となりうる今回のようなミーティングは有意義だと感じる

Q3. 今回のタウンミーティングの時間配分について、感想をお聞かせください。

①市政報告に係る時間配分について	
回答数	項目
6	ちょうどよかった
0	時間が長すぎる
0	もっと時間をとって欲しかった
0	その他
②意見交換に係る時間配分について	
回答数	項目
5	ちょうどよかった
0	時間が長すぎる
1	もっと時間をとって欲しかった
0	その他

Q4. 参加者年齢層

回答数	年齢
0	20代
4	30代
2	40代
0	50代
0	60代
0	70代

Q5. 参加者性別

回答数	項目
5	男性
1	女性
0	未回答

Q6. その他、ご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。

○藤井寺市を良くしたい！そんな集まり心地良かったです。このような企画は定期的に行いたいです。

○貴重な機会に参加できて良かったです。

○初めてのタウンミーティングだったので中々感想というのは難しいですが、住民としての市への関わり方を聞いてみたいです。私たち住民ができることは何かありますか？今後、住民が意見を伝える場を増やす予定はありますか？